

# 子どもたちの学力向上を確実に図る校内研究の充実に向けて

西部教育局  
お役立ち情報  
令和7年3月号

～次年度をスムーズにスタートするために校内研究を振り返りましょう～

この時期は子どもたちにとって、1年間の学習のまとめをする時期であると同時に、先生方は1年間の校内研究のまとめをする時期でもあります。今年度の校内研究の取組によって、授業改善は進んだか、子どもにどんな力が付いたのか、どんなことができるようになったのか等、今年度の成果と課題を整理し、年度内に「次年度の校内研究の構想(子どもの実態から見えてきた研究の方向性・校内研修の計画・校内授業研究会の日程等)」をしていきましょう。そうすることで、4月の新体制での校内研究をスムーズにスタートすることができます。

## 今年度の取組から次年度の研究の方向性を定め、 スムーズな次年度のスタートに向けた準備をしましょう。

### 取組例

### 他校と取組の共有をして自校の研究の充実へつなげる!

本校では、学校教育目標を基に、研究テーマを全職員で共有し、年度当初に設定した成果指標・目標値等に照らして、取組そのものの効果についても検証しています。

指標を設定することで、目的が明確化、具体化されるので、子どもの変容や取組の成果を全職員で実感することができます。

また、研究主任だけでなく、研究部の先生に年度当初の研究職員会で研修をしてもらったり、職員会後にミニ研修会をしたりしています。

4月には、教員自ら学ぶ姿勢を持つように研究の個人目標を立ててもらい、1年間を通して検証していきます。



A学校  
研究主任



Good! なるほど、年度当初に成果指標・目標値を設定することで、より客観的な見取りができるんですね。



Good! 今年度中に成果指標に使えるようなデータは何かを考え、そろえておかななくては…。



Good! 研究主任だけが研修するのではなく、校内の先生方にも年度当初の研修や先生方の強みを生かしたミニ研修などで活躍してもらおうのもいいですね。



Good! 研究を自分事にするために、個人目標を立てるのはいいアイデアですね。自分自身を振り返るためにも個人目標はいいですね。



B学校  
研究主任



B学校  
研究主任

(令和6年度第2回研究主任等情報交換会より)

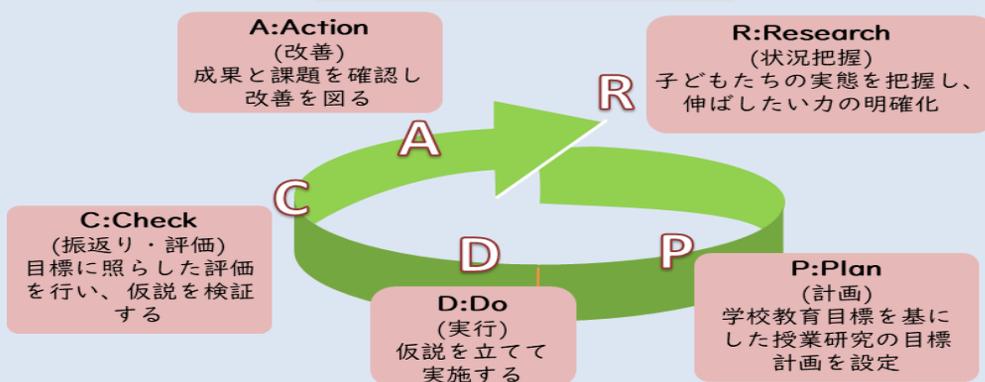
今年度、できることは?

◆1年間のまとめのこの時期に、その年に実施した学校評価や学力調査・アンケート等を生かした「現状把握」や「分析・診断」、「課題づくり」までを実施し、学校目標が達成できたかを具現化し、校内研究のサイクルを教職員と確認し、共通理解します。



- 研究主任だけでなく、チームでの取組になっていますか?
- 成果と課題、次年度の研究主題は全職員で共有できていますか?
- 一人一人が校内研究を自分事として捉えていますか?

### 校内研究のサイクル



西部教育局HPで、お役立ち情報や校内授業研究充実のためのポイント(リーフレット)を御活用ください。



⇒4月のスタートは新たなメンバーでの「組織づくり」からはじめることができ、早い時期に「実践」に移すことができます。研究の体制を早く確立することで、4月当初は、子どもと触れ合う時間を多くもつことができるというメリットもあります。